

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																															
新東京歯科衛生士学校	昭和58年1月19日	福原 達郎	〒143-0016 東京都大田区大森北一丁目18番2号 (電話) 03-3763-2200																															
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																															
学校法人東京滋慶学園	昭和61年2月1日	中村 道雄	〒143-0016 東京都大田区大森北一丁目18番2号 (電話) 03-3763-2200																															
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士																														
医療	歯科衛生士 専門課程	歯科衛生士科Ⅰ部	平成25年文部科学省 告示第二号																															
学科の目的	社会人基礎力とコミュニケーション力を兼ね備え、チーム医療の一員として社会に貢献できる歯科衛生士となる。																																	
認定年月日	平成28年 2月19日																																	
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																											
3年	昼間	126単位	75単位	31単位	20単位	0	0																											
	単位時間																																	
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内数)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																													
240人	264人	7人	7人	52人	59人																													
学期制度	■前期: 4月1日～9月30日 ■後期: 10月1日～翌年3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 学業成績は、授業科目ごとに行う試験(筆記試験、実技試験等)によって評価される。 その評価はA(90～100点)、B(80～89点)、C(70～79点)、D(60～69点)、F(59点以下・不合格)、E(受験資格喪失)で行い、D以上で合格とする。																														
長期休み	■学年始め: 4月1日 ■夏季: 8月の3週間 ■冬季: 12月下旬～翌年1月の2週間 ■春季: 3月の3週間		卒業・進級条件	■1つの学期ごとに全科目A～Dまでの評価を得た者。 ■卒業時まで全科目を履修し、学年ごとに必修単位数を取得し、学校長が適当と認めた者																														
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 担任から家庭への定期的な電話連絡の他に、必要に応じて、個人面談、三者面談を実施する。		課外活動	■課外活動の種類 特になし ■サークル活動: 無																														
就職等の状況※2	■主な就職先、業界等(令和4年度卒業生) 歯科診療所 ■就職指導内容 就職講座内で人事採用ご担当者を招き、情報提供に努めている。 <table border="1"> <tr> <td>■卒業生数</td> <td>77</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>■就職希望者数</td> <td>69</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>■就職者数</td> <td>69</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>■就職率</td> <td>100</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>■卒業者に占める就職者の割合</td> <td>89.6</td> <td>%</td> </tr> </table> ■その他 なし (令和4年度卒業生に関する 令和5年5月1日 時点の情報)		■卒業生数	77	人	■就職希望者数	69	人	■就職者数	69	人	■就職率	100	%	■卒業者に占める就職者の割合	89.6	%	主な学修成果 (資格・検定等) ※3 <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>歯科衛生士免許</td> <td>②</td> <td>75人</td> <td>73人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄	資格・検定名	種	受験者数	合格者数	歯科衛生士免許	②	75人	73人								
■卒業生数	77	人																																
■就職希望者数	69	人																																
■就職者数	69	人																																
■就職率	100	%																																
■卒業者に占める就職者の割合	89.6	%																																
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																															
歯科衛生士免許	②	75人	73人																															
中途退学の現状	■中途退学者 8名 令和4年4月1日時点において、在学者259名(令和4年4月1日入学者を含む) 令和5年3月31日時点において、在学者251名(令和5年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 学力不足による目的喪失、精神疾患、進路変更、実習不適應 ■中退防止・中退者支援のための取組 学内カウンセリング施設によるサポート、一人暮らしセミナーの実施、学費分納制度、就職希望者の就職サポート		■中退率 3.1%																															
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ・特待生制度(入学前の成績優秀者への学費減免)・スカラシップ制度(在校生向け学校独自指標優秀者への学費減免) ・被災罹災者学費減免 ■専門実践教育訓練給付: 給付対象																																	
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無																																	
当該学科のホームページURL	URL: https://www.dh.ntdent.ac.jp/department/general/																																	

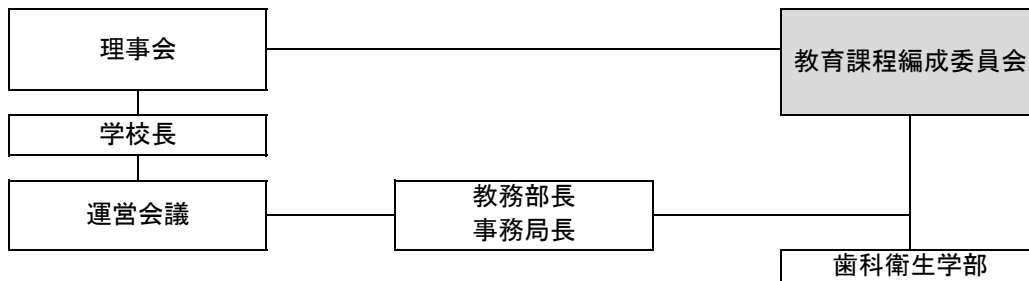
1. 「専攻分野に関する企業、団体等（以下「企業等」という。）との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

教育課程の編成において、業界が求める人材要件(知識・技術・人間性等)を明確にし、必要となる最新の知識・技術を反映するため、企業・業界団体等の意見を活かし、教育課程の改善及び改訂を定期的実施することを目的とする。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

教育課程編成委員会は、教育課程を決定する「理事会」の直下に位置付けられ、教育課程編成委員会で出された意見は、運営会議にて改善案を起案し、理事会において審議され教科課程へ反映される。



(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和5年5月1日現在

名 前	所 属	任 期	種 別
小池 軍平	一般社団法人 日本デジタル歯科学会	2022年4月1日～2024年3月31日	①②
高山 史年	日本有病者歯科医療学会	2022年4月1日～2024年3月31日	①②
大矢 敦司	医療法人社団 大樹	2022年4月1日～2024年3月31日	③
末光 妙子	医療法人財団 匡仁会	2022年4月1日～2024年3月31日	③
小川 昭久	学校法人 東京滋慶学園 理事	2022年4月1日～2024年3月31日	
福原 達郎	新東京歯科衛生士学校 学校長	2022年4月1日～2024年3月31日	
三觜 雅子	新東京歯科衛生士学校 副学校長	2022年4月1日～2024年3月31日	
関口 崇之	学校法人 東京滋慶学園 副運営本部長	2022年4月1日～2024年3月31日	
今井 リカ	新東京歯科衛生士学校 事務局長	2022年4月1日～2024年3月31日	
植田 慎司	新東京歯科衛生士学校 事務部長	2022年4月1日～2024年3月31日	
大原 良子	新東京歯科衛生士学校 学部長	2022年4月1日～2024年3月31日	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員（1企業や関係施設の役職員は該当しません。）
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

年2回 6月、11月

(開催日時)

2023年度

第1回 2023年5月25日 18:00～20:00

第2回 2023年10月31日 18:00～20:00

2022年度

第1回 2022年6月2日 18:00～20:00

第2回 2022年10月31日 18:00～20:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

①「コミュニケーションスキルアップ検定」の授業内容を見直し、実践を交えながらロールプレイングを行いコミュニケーション力を向上できるように改善を行っている。

②臨地実習の登院前に歯科医院見学を実施することに加え、動画等を活用し治療の流れを理解することで実習不適應の対策を行う。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

在学中に、様々な臨床・臨床実習で、歯科衛生士の働き方を知ることにより、卒業後の進路決定や将来像の参考になるような機会とする。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

臨床・臨床実習先より評価表を提出して頂き、最終評価に反映している。また、キャリア教育の一環で業界で活躍する卒業生や歯科医師より、将来像を明確にすることを目的とした動機付け教育にご協力頂いている。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
臨床実習Ⅰ	実際の臨床現場で今までの学習を総合的にとらえ、歯科臨床に応用できる。 ・主として見学を中心とした実習とし、臨床現場における歯科診療の流れを理解しチェアサイドアシスタントワークができるようになる。 ・各症例に合わせたアシスタントワークが出来るようになる。	西堀歯科医院、サイトウ歯科医院、入江歯科医院、藤本歯科長洲医院、鶴見中央歯科クリニック、医療法人社団慶生会慶生会クリニック、医療法人社団樹英会泉ガーデンデンタルクリニック、医療法人社団あすなろ会藤見歯科医院、大木歯科医院、JCHO東京高輪病院、博慈会記念総合病院、医療法人審美会鶴見歯科医院、横須賀歯科医院、他99件
臨床実習Ⅱ	・実習指導者の指示のもと安全に配慮した歯石除去、歯面研磨、う蝕予防処置ができるようになる。 ・スタッフと連携して協同動作、治療内容に応じた行動ができるようになる。	
臨床実習Ⅲ	・業務記録の記述ができるようになる。 ・各症例に適した患者対応・指導ができるようになる。	
実習指導教育Ⅰ	・臨床実習に臨む為の身構え・気構え・心構えと実践力を身につけ、歯科臨床に応用できる。	(株)ジーシー、(株)ヨシダ、(株)モリタ、松尾歯科医院 他
実習指導教育Ⅱ		

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究（以下「研修等」という。）の基本方針

業界と連携し、学会発表のための共同研究や企業主催の研修に積極的に参加する。学部長、学科長中心に年間の研修を企画し、上記の研究成果や研修で得られた知識を学内で共有する。

※教員研修規程からの抜粋

第2条 研修は、教員の授業内容・方法及びクラス運営方法を改善し向上させるとともに、マネジメント能力を含む指導力の習得、向上させるために行う。

第4条 法人本部並びに学校は、教員の研修計画を策定、実施し、教員に研修を受ける機会を与えなければならない。

2 法人本部または学校が必要と認めるとき、他の機関と共同または委託し、研修を行うことができる。

第6条 教員は、日常の勤務を通し必要な研修を受けるものとする。

2 日常勤務を通した研修は、教員の監督者がその計画を策定、実施する。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

【予防完全マスターコース】

対象：専任教員

主催：株式会社オール・デンタル・ジャパン

内容：リスクに基づくフッ化物応用法

期間：2022年7月4日

【全国歯科衛生士教育協議会 講習会Ⅱ】

対象：専任教員

主催：全国歯科衛生士教育協議会主催

内容：歯科衛生士教育における教育内容及び専任教員のレベルの統一とレベルアップを図る

期間：2022年8月1日～2022年8月5日

【全国歯科衛生士教育協議会 講習会Ⅳ】

対象：専任教員

主催：全国歯科衛生士教育協議会主催

内容：歯科衛生士教育における教育内容及び専任教員のレベルの統一とレベルアップを図る

口腔機能リハビリテーション、食支援、歯科衛生学

期間：2022年8月22日～26日

【予防完全マスターコース】

対象:専任教員
主催:株式会社オール・デンタル・ジャパン
内容:PMTGとPTCの違い、マイクロスコープを用いた実習
期間:2022年9月4日

【大田区大森地域保健医療勉強会】

対象:専任教員
主催:滋慶科学教育研究所
内容:地域における口腔・栄養・リハビリテーションの連携
期間:2022年9月29日

【予防完全マスターコース】

対象:専任教員
主催:株式会社オール・デンタル・ジャパン
内容:マイクロスコープを使った正しいシーラントの応用方法
期間:2022年10月2日

【予防完全マスターコース】

対象:専任教員
主催:株式会社オール・デンタル・ジャパン
内容:ライフステージに応じたフッ化物応用、最新の最近検査に関する実習
期間:2022年11月6日

【歯科衛生士国試対策短期講座】

対象:専任教員
主催:日本医歯薬研修協会
内容:歯科衛生士国家試験合格を目指すため、基礎・臨床の重要項目をまとめる
期間:2022年11月19・20日

【教職員研修】

対象:専任教員
主催:口腔衛生関東地方研究会学術大会
内容:「生きる力」を育む学校での歯・口の健康づくり—今後の展開—
期間:2023年2月26日

【歯科衛生士国試対策短期講座】

対象:専任教員
主催:日本医歯薬研修協会
内容:歯科衛生士国家試験合格を目指すため、基礎・臨床の重要項目をまとめる
期間:2023年7月22日

②指導力の修得・向上のための研修等

【FDマイクロレベル研修】

対象:専任教員
主催:滋慶教育科学研究所
内容:クラスマネジメントの習得
期間:2022年5月25・26日

【FDマイクロレベル フォローアップ研修】

対象:専任教員
主催:滋慶教育科学研究所
内容:クラスの助長を促すコーチングの基礎
期間:2022年6月15・16日

【教職員カウンセリング研修(2次)】

対象:専任教員
主催:滋慶科学教育研究所
内容:カウンセリングマインドを身につけて、学生や保護者に対応できるようにスキル向上
期間:2022年9月29・30日、10月27日

【マネジメント研修】

対象:専任教員
主催:滋慶科学教育研究所
内容:DX時代におけるマネジメント
期間:2022年10月18日

【CPAアカデミック資格講座】

対象:専任教員

主催:滋慶科学教育研究所

内容:一般社団法人日本プライバシー認証機構(JPAC)のもと個人情報の取り扱いについて学ぶ

期間:2022年12月8日

【キャリア教育アドバンスド研修】

対象:専任教員

主催:滋慶科学教育研究所

内容:専門学校に義務化された合理的配慮の概論と実際

期間:2023年1月12日

【キャリア教育インストラクター研修】

対象:専任教員

主催:滋慶科学教育研究所

内容:入学目標(夢)を実現するための3つの基本フォームと行動原則-スタンダードを知る-

期間:2023年1月20日

【ハラスメント研修】

対象:専任教員

主催:滋慶科学教育研究所

内容:アカデミックハラスメント予防の「自覚と視点」

期間:2023年5月9日

【EAST DX推進&キャリアSharepoint研修】

対象:専任教員

主催:滋慶科学教育研究所

内容:harepoint/ハンズオン

期間:2023年6月9日

【『留学生の価値を知る』研修】

対象:専任教員

主催:滋慶科学教育研究所

内容:外国人・コミュニケーション・授業のヒント

期間:2023年6月13日

(3) 研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

【全国歯科衛生士教育協議会 講習会Ⅰ】

対象:専任教員

主催:全国歯科衛生士教育協議会主催

内容:歯科衛生学教育法、歯科衛生学、研究指導法

期間:2023年7月31日～8月4日

【全国歯科衛生士教育協議会 講習会Ⅲ】

対象:専任教員

主催:全国歯科衛生士教育協議会主催

内容:口腔健康管理、研究指導法、歯科衛生学

期間:2023年8月27日～9月1日

【第29回 日本摂食嚥下リハビリテーション学会(横浜)】

対象:専任教員

主催:日本摂食嚥下リハビリテーション学会事務局

内容:摂食嚥下リハビリテーションと多様性

期間:2023年9月2・3日

【予防完全マスターコース】

対象:専任教員

主催:株式会社オール・デンタル・ジャパン

内容:フッ化物溶液作成、口腔内カメラ12枚法

期間:2023年9月3日

【予防完全マスターコース】

対象:専任教員

主催:株式会社オール・デンタル・ジャパン

内容:PMTCとPTCの違い、マイクロスコープを用いた実習

期間:2023年10月1日

【歯科衛生士国試対策短期講座】

対象: 専任教員

主催: 日本医歯薬研修協会

内容: 歯科衛生士国家試験合格を目指すため、基礎・臨床の重要項目をまとめる

期間: 2023年11月11・12日

【第14回日本歯科衛生教育学会学術大会】

対象: 専任教員

主催: 日本歯科衛生教育学会

内容: 歯科衛生学教育におけるプロフェッショナリズムの醸成 -キャリア教育の果たす役割-

期間: 2023年12月2・3日

②指導力の修得・向上のための研修等

【2023年度国家試験対策研修会】 配信動画

対象: 専任教員

主催: 国家試験対策センター

内容: 国家試験合格率の更なる向上に向けて

期間: 2023年6月30日～10月10日

【FDミクロレベル研修Ⅱ】

対象: 専任教員

主催: 滋慶教育科学研究所

内容: クラスマネジメント

期間: 2023年7月27日

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

自己点検・評価結果について学校職員以外の関係者による評価を行うため、各校に学校関係者評価委員会を置く。評価委員会は、自己点検・評価結果の客観性・透明性を高め、学校の利害関係者の学校運営への理解促進や連携協力による学校運営の改善を目的とする。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	理念・目的・育成人材像
(2)学校運営	学校運営
(3)教育活動	教育活動
(4)学修成果	学修成果
(5)学生支援	学生支援
(6)教育環境	教育環境
(7)学生の受入れ募集	学生の受入れ募集
(8)財務	財務
(9)法令等の遵守	法令等の遵守
(10)社会貢献・地域貢献	社会貢献・地域貢献
(11)国際交流	国際交流

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

多様性に対応していく教育と業界が求める職業人教育のギャップをうめるべく、キャリア教育の観点で、歯科衛生士という職種のやりがいや、社会的な意義を感じられる教育カリキュラムに更に重点をおいて職業人教育としての人材育成を図る。重点課題は以下の通り。

- ① 専門職として必要な知識・技術・考え方を学ぶ産学連携教育の深化を図る。
- ② 自己の課題発見・課題解決力を身につけるためのキャリア教育プログラムの見直しを図る。
- ③ 現場コミュニケーション力の向上を図る実習教育プログラムの強化を実施する。
- ④ トップ層教育の推進を行うことにより、モチベーションの向上を図る。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和5年5月1日現在

名前	所属	任期	種別
渡部 みゆき	医療法人社団正翔会 横須賀歯科医院	2022年4月1日～2024年3月31日	卒業生
横山 祐美子	歯科衛生士科Ⅱ部 在校生の保護者	2022年4月1日～2024年3月31日	保護者
森 章	拓殖大学紅陵高等学校	2022年4月1日～2024年3月31日	高等学校
中島 穰	公益社団法人 東京都大田区大森歯科医師会	2022年4月1日～2024年3月31日	地域等委員
富田 基子	公益社団法人 東京都歯科衛生士会	2022年4月1日～2024年3月31日	業界等委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。
(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期
(ホームページ)

URL:<https://www.dh.ntdent.ac.jp/information/>

令和5年6月30日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

歯科業界の動向や最新の技術について情報提供していただき、カリキュラムの見直しを図る。
また、学生の進路決定や将来の目標設定させる際の参考とする。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校の概要、目標及び計画
(2) 各学科等の教育	各学科等の教育
(3) 教職員	教職員
(4) キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育・実践的職業教育
(5) 様々な教育活動・教育環境	様々な教育活動・教育環境
(6) 学生の生活支援	学生の生活支援
(7) 学生納付金・修学支援	学生納付金・修学支援
(8) 学校の財務	学校の財務
(9) 学校評価	学校評価
(10) 国際連携の状況	国際連携の状況
(11) その他	その他

※(10)及び(11)については任意記載。

URL:<https://www.dh.ntdent.ac.jp/information/>

授業科目等の概要

(歯科衛生士専門課程 歯科衛生士学科 I 部) 2023年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			基礎生物学 Biology	人体機能の基本知識を修得し、患者の疾病予防を目指した行動ができる。	1・前	15	1	○			○			○	
○			基礎化学 Chemistry	化学の知識・技能を修得し、歯科衛生士の実務に応用できる。	1・前	15	1	○			○			○	
○			歯科英語 Dental English	基本的な英語力を身につけ、英語でコミュニケーションが図れる。	1・前	15	1	○			○			○	
○			国語表現法 Usage of Japanese Expressions	基本的な文章力を身につけ、感想と考察の違いを学び、表現できる。	1・前	15	1	○			○			○	
○			医療倫理 Medical Ethics	医の倫理の原則を学び、倫理的判断に基づいた行動が取れる。	1・後	15	1	○			○			○	
○			コンピュータ基礎 Computer Basics	コンピュータの基礎的な操作、Word・Excel・PowerPointの使用法を修得し、操作できる。	1・前	15	1	○			○			○	
○			カウンセリング学 Counseling	心の健康を健全な状態にできるコミュニケーションを学び、カウンセリングを実践できる。	1・前	15	1	○			○			○	
○			コミュニケーションスキルアップ 検定 Certificate for Communication Skill up	社会人として必要なコミュニケーションスキルを身につけ、コミュニケーションスキルアップ検定に合格できる。	1・前	30	2	○			○			○	
○			手話 Sign Language	コミュニケーション方法の一つとして手話の基本技術を修得できる。	1・前	15	1	○			○			○	
○			解剖学 Anatomy	人体の支持、骨・筋の形態、血管の分布や内臓各器官の構造と動きを理解し、歯科臨床に応用できる。	1・前	30	2	○			○			○	
○			生理学 Physiology	生体の様々な臓器や器官の働きと機能、構造について理解し、歯科臨床に応用できる。	1・前	15	1	○			○			○	
○			生化学 Biochemistry	主要な生化学的変化について学び、歯科保健指導に応用できる。	1・前	15	1	○			○			○	
○			口腔解剖学 Oral Anatomy	顎・顔面・口腔領域の組織や器官の構造と機能について学び、歯科臨床に応用できる。	1・前	30	2	○			○			○	
○			歯牙解剖学 (組織発生学含む) Dental Anatomy	組織・発生学の概要を学び、歯および歯列の役割を理解し、歯科臨床に応用できる。	1・後	30	2	○			○			○	
○			口腔生理学 Oral Physiology	口腔領域の様々な器官の働きと機能、構造について理解し、歯科臨床に応用できる。	1・前	15	1	○			○			○	
○			病理学・口腔病理学 Pathology・Oral Pathology	疾病についての基本的事項を理解し、口腔領域の様々な組織に発生した病変について学び、歯科臨床に応用できる。	1・後	15	1	○			○			○	
○			薬理学・歯科薬理学 Pharmacology・Dentistry Pharmacology	歯科医療で使用する薬剤や全身疾患の治療薬を知り、身体における薬の働きを学び、歯科臨床に応用できる。	1・後	30	2	○			○			○	

○			高齢者歯科学 Dental Geriatrics	要介護を含めた高齢者の歯科医療について学び、歯科臨床に 応用できる。	2・後	15	1	○			○										
○			歯科予防処置論Ⅰ Dentistry Prevention Measures Theory I	歯科衛生士として歯科予防処置(歯および口腔の疾患を予防 して健康な状態を維持・増進するために必要な処置)が実践で きる。	1・後	30	2	○	○		○			○	○						
○			歯科予防処置論Ⅱ Dentistry Prevention Measures Theory II		1・後	15	1	○	○		○				○	○					
○			歯科予防処置論Ⅲ Dentistry Prevention Measures Theory III		2・前	30	2	○	○		○				○	○					
○			歯科予防処置論Ⅳ Dentistry Prevention Measures Theory IV		2・前	30	2	○	○		○				○	○					
○			歯科予防処置論Ⅴ Dentistry Prevention Measures Theory V		2・後	15	1	○	○		○				○	○					
○			歯科保健指導論Ⅰ Dentistry Health Guidance Theory I		各集団、年齢に合わせた口腔保健管理ができるよう、口腔清 掃法、コミュニケーション法、指導法を修得し、適切な保健指導 ができる。	1・後	30	2	○			○								○	
○			歯科保健指導論Ⅱ Dentistry Health Guidance Theory II	2・前		30	2	○	○		○									○	
○			歯科保健指導論Ⅲ Dentistry Health Guidance Theory III	2・前		30	2	○	○		○									○	
○			口腔機能管理 Oral rehabilitation and functional	摂食嚥下機能障害について理解し、訓練法を修得し、患者の 疾病予防を目指した行動ができる。	3・前	15	1	○			○									○	
○			歯科診療補助論Ⅰ Dental Examination Assistance Theory I	歯科治療の流れ、器具器材、薬品について知識・技術を修得 し、歯科診療が円滑に行なわれるよう歯科診療の補助が実践 できる。	1・後	30	2	○	○		○									○	
○			歯科診療補助論Ⅱ Dental Examination Assistance Theory II		1・後	30	2	○	○		○										○
○			歯科診療補助論Ⅲ Dental Examination Assistance Theory III		2・前	30	2	○	○		○										○
○			歯科診療補助論Ⅳ Dental Examination Assistance Theory IV		2・前	30	2	○	○		○										○
○			歯科放射線学 Dental Radiology	歯科におけるエックス線について学び、歯科臨床に 応用できる。	2・前	15	1	○			○									○	
○			臨地実習Ⅰ Clinical Practice I	実際の臨床現場で今までの学習を総合的にとらえ、歯科臨床 に応用できる。	2・後	270	6				○			○						○	
○			臨地実習Ⅱ Clinical Practice II		3・前	360	8				○			○							○
○			臨地実習Ⅲ Clinical Practice III		3・前	270	6				○			○							○

○		歯科衛生士総合講座Ⅰ Comprehensive Studies for Dental Hygienists I		3・後	30	2	○			○									
○		歯科衛生士総合講座Ⅱ Comprehensive Studies for Dental Hygienists II	歯科衛生士として総合的な基礎力、応用力を修得し国家試験に合格できる。	3・後	30	2	○			○									
○		歯科衛生士総合講座Ⅲ Comprehensive Studies for Dental Hygienists III		3・後	30	2	○			○			○	○					
○		キャリアデザイン Career Education		職業人として必要な基礎力と自分で行動する力を身につけ、歯科衛生士の実務に応用できる。	1・前	15	1	○			○			○	○				
○		病理学・口腔病理学 基礎 Basic Pathology・Oral Pathology	基本的な病変の分類と代表的な疾病の肉眼的・組織的な特徴を理解し、歯科臨床に応用できる。	1・後	15	1	○			○									
○		微生物学・口腔微生物学 基礎 Basic Microbiology・Oral Pathology	細菌やウイルスに対する知識を学び、歯科衛生士における清潔の概念や感染症について理解し、歯科臨床に応用できる。	1・前	15	1	○			○									
○		口腔衛生学 基礎 Basic Oral Hygiene Study	口腔の疾患の予防や、健康保持・増進の意義を理解し、口腔保健を向上させるために必要な知識と技術を修得できる。	1・後	15	1	○			○									
○		衛生学・公衆衛生学 基礎 Basic Hygienics・Public Health	衛生学・公衆衛生学の意義、健康・予防医学の概念について理解し、歯科臨床に応用できる。	2・後	15	1	○			○									
○		衛生行政・社会福祉 基礎 Basic Administration・Social Welfare Health	関係法規を学び社会保険、社会福祉、医療保険制度について学び、その判断に基づいた行動ができる。	2・後	15	1	○			○									
○		歯科補綴学 基礎 Basic Dentistry Prosthodontics	歯科補綴治療の流れ、種類を学び、歯科臨床に応用できる。	2・前	15	1	○			○									
○		口腔外科学 基礎 Basic Maxillofacial Surgery	口腔外科疾患の原因、主要症状、治療法や歯科麻酔に関する知識を学び、歯科臨床に応用できる。	2・前	15	1	○			○									
○		歯科矯正学 基礎 Basic Orthodontics	矯正学の基本的事項、治療の流れを学び修得する。	2・前	15	1	○			○									
○		小児・障がい者学 基礎 Basic Pedodontics・Handicapped Person Dentistry	発育期にある小児、障がい者の歯科医療、口腔健康管理を学び修得する。	2・前	15	1	○			○									
○		歯科予防処置論 基礎Ⅰ Basic Dentistry Prevention Measures Theory I	歯科衛生士として歯科予防処置(歯および口腔の疾患を予防して健康な状態を維持・増進するために必要な処置)の知識、技術を修得する。	1・前	30	2	○	○		○			○	○					
○		歯科予防処置論 基礎Ⅱ Basic Dentistry Prevention Measures Theory II		1・前	30	2	○	○		○			○	○					

○		歯科保健指導論 基礎 Basic Dentistry Health Guidance Theory	各集団、年齢に合わせた口腔保健管理ができるよう、口腔清掃法、コミュニケーション法、指導法を修得する。	1・前	30	2	○		○		○							
○		口腔衛生管理 Oral Cavity Care Technology	歯科衛生士が行なう口腔衛生管理の維持向上の重要性を理解する事ができる。	2・後	15	1	○				○							○
○		口腔機能管理 基礎 Basic Oral rehabilitation and functional	摂食嚥下機能障害について理解し、訓練法を修得する。	3・前	15	1	○				○							○
○		歯科診療補助論 基礎Ⅰ Basic Dental Examination Assistance Theory I	歯科治療の流れ、器具器材、薬品について知識・技術を修得する。	1・前	30	2	○	○			○							○
○		歯科診療補助論 基礎Ⅱ Basic Dental Examination Assistance Theory II		1・前	30	2	○	○			○							○
○		歯科材料学 Dental Material Science	歯科領域で使用される歯科材料の種類、成分、性状などについて学び、物性を発揮できる取り扱いができる。	1・後	15	1	○				○							○
○		インプラントアシスタントワーク Implant Assistant Work	インプラント治療の流れを理解し、適切なチェアサイドアシスタントワークができる。	3・前	15	1	○				○							○
○		実習指導教育Ⅰ Clinical Practice Training I	臨地実習に臨む為の身構え・気構え・心構えと実践力を身につけ、歯科臨床に応用できる。	2・前	30	2	○	○			○							○
○		実習指導教育Ⅱ Clinical Practice Training II		3・前	15	1	○	○			○							○
○		歯科衛生士総合講座 基礎Ⅰ Basic Comprehensive Studies for Dental Hygienists I	歯科衛生士として総合的な基礎力を修得し国家試験に合格できる。	1・後	15	1	○				○							○
○		歯科衛生士総合講座 基礎Ⅱ Basic Comprehensive Studies for Dental Hygienists II		2・後	15	1	○					○						○
○		歯科衛生士総合講座 基礎Ⅲ Basic Comprehensive Studies for Dental Hygienists III		3・前	30	2	○					○						○
○		歯科衛生士総合講座 基礎Ⅳ Basic Comprehensive Studies for Dental Hygienists IV		3・前	30	2	○					○						○
○		就職講座 Occupation Orientation	就職活動に必要な履歴書の書き方、面接対策など基本知識を学び、実践できる。	3・前	15	1	○				○							○
	○	国際教育 International Education	海外研修を通して異文化の理解、自己発信、コミュニケーション力を身に付け、国際的視野で理解する素質を修得することができる。	2・前	15	1				○								○
	○	歯科衛生士総合講座Ⅳ Comprehensive Studies for Dental Hygienists IV	歯科衛生士として総合的な基礎力、応用力を修得し国家試験に合格できる。	3・後	15	1	○				○							○
	○	審美美容ゼミ・歯科診療訪問ゼミ Advanced dental practice	各専門分野で活躍されている業界の方から、演習を通して実践的な知識・技術を修得することができる。	1・前	15	1	○	○			○							○
合計			85科目	2,535単位時間(129単位)														

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
学年ごとに必須単位数を修得し進級する。		1学年の学期区分	前期・後期
全科目履修で卒業となる。		1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。